

1 かけ算の決まり ①

名前

ねらい 0の乗法を理解する。

Ⅰ さちこさんが点とりゲームをしたら、下の図のようになりました。

- ① 10点、5点、0点のところの、
とく点をもとめる式と答えを書きましょう。

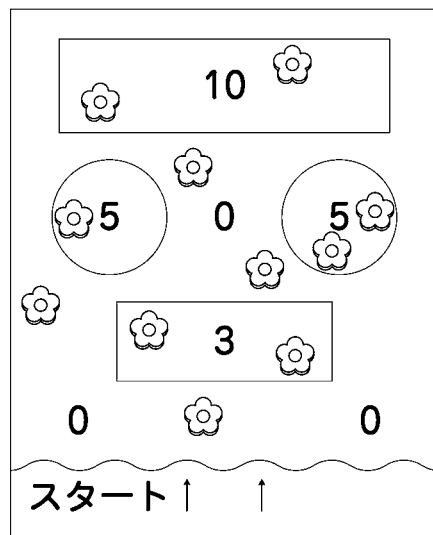
$$10 \times \boxed{2} = \boxed{20}$$

$$5 \times \boxed{3} = \boxed{15}$$

$$0 \times \boxed{4} = \boxed{0}$$

- ② 表をかんせいさせましょう。

入ったところ	入った数 (こ)	とく点 (点)
10点	2	20
5点	3	15
3点	2	6
0点	4	0



Ⅱ 計算をしましょう。

① $0 \times 3 = 0$

② $0 \times 10 = 0$

③ $0 \times 0 = 0$

④ $9 \times 0 = 0$

⑤ $10 \times 0 = 0$

⑥ $2 \times 0 = 0$

1 かけ算の決まり ②

名前

ねらい 乗数と積との関係、交換法則を理解する。

① 6のだんの九九の答えのな^{しら}らび方を調べましょう。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54

② () にあてはまることばを書きましょう。

かけ算では、かける数が1ふえると、

答えは (**かけられる**) 数だけ大きくなります。かける数が1へると、答えはかけられる数だけ (**小さく**) なります。

③ □ にあてはまる数を書きましょう。

① $6 \times 5 = \square \times \square$

② $6 \times 5 = 6 \times 4 + \square$

③ $5 \times 3 = 5 \times \square + 5$

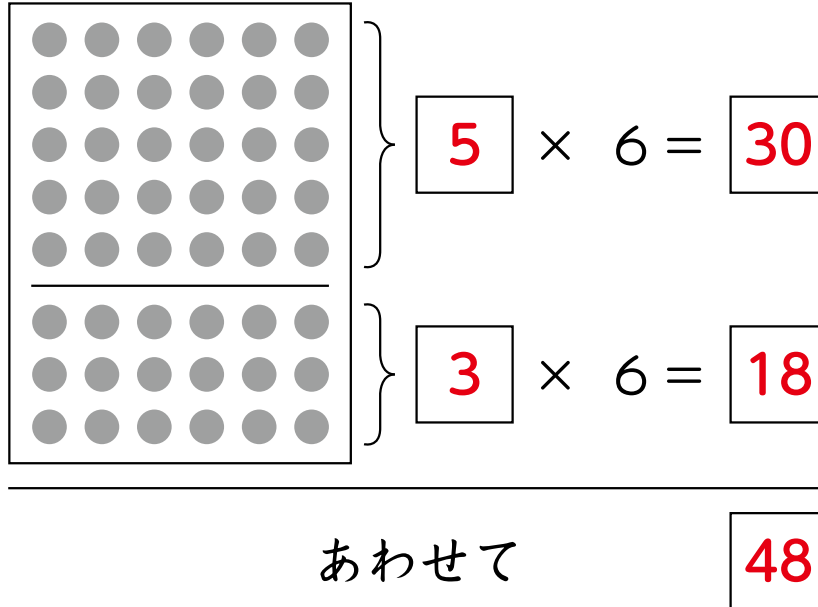
④ $8 \times 6 = 8 \times 7 - \square$

1 かけ算の決まり ③

名前

ねらい 乗法の分配法則を理解する。

- ① ゆみさんは、 8×6 の答えのもとめ方を、下の図のように考えました。
□にあてはまる数を書きましょう。

これを式^{しき}にすると

$$8 \times 6 = (\boxed{5} \times 6) + (\boxed{3} \times 6)$$

- ② □にあてはまる数を書きましょう。

① $8 \times 6 = (5 \times 6) + (\boxed{3} \times 6)$

② $7 \times 9 = (\boxed{2} \times 9) + (5 \times 9)$

③ $5 \times 8 = (5 \times 5) + (5 \times \boxed{3})$

④ $6 \times 9 = (6 \times \boxed{4}) + (6 \times 5)$

1 かけ算の決まり ④

名前

ねらい 乗法に関して成り立つ性質をもとに、2位数と1位数の乗法の計算の仕方を考えることができる。

- ① いろいろなきまり^{つか}を使って、 12×5 の答えのもとめ方を考えましょう。
□の中にあてはまる数を書きましょう。

- ① 12の5こ分と考えて……

$$12 + 12 + 12 + 12 + 12 = \boxed{60}$$

- ② $12 \times 5 = 5 \times 12$ と考えて……

$$\begin{array}{l} 5 \times 9 = 45 \\ 5 \times 10 = 50 \\ 5 \times 11 = \boxed{55} \\ 5 \times 12 = \boxed{60} \end{array} \quad \begin{array}{l} \text{5 ふえる} \\ \text{5 ふえる} \\ \text{5 ふえる} \end{array}$$

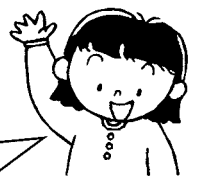
- ③ 分配^{ぶんぱい}のきまりを使って……

〈例〉

$$\begin{array}{l} 12 \times 5 \\ \begin{array}{l} \boxed{9} \times 5 = \boxed{45} \\ \boxed{3} \times 5 = \boxed{15} \end{array} \\ \hline \text{あわせて} \quad \boxed{60} \end{array}$$

いろいろなもとめ方があるよね。

どのように考えると
計算しやすいかな？



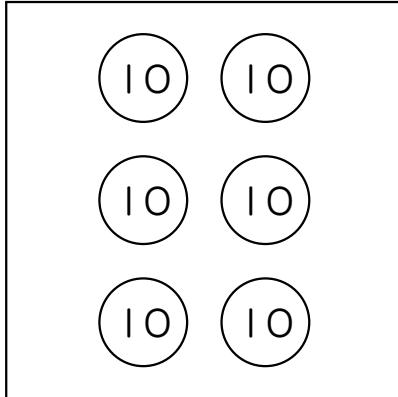
1 かけ算の決まり ⑤

名前

ねらい 何十×何、何百×何の乗法の計算の仕方を理解する。

1 □にあてはまる数を書きましょう。

①

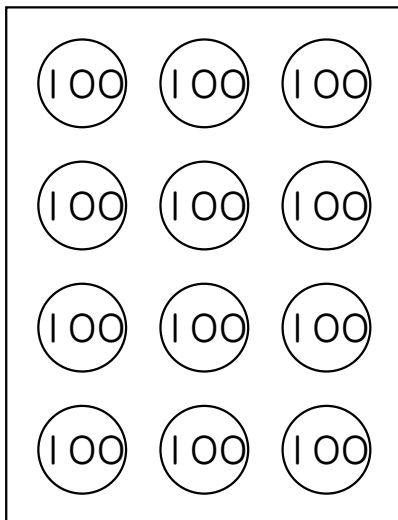


① 10が $(3 \times 2) =$ 6

10が 6 こで60

だから $30 \times 2 =$ 60

②



② 100が $(4 \times 3) =$ 12

100が 12 こで1200

だから $400 \times 3 =$ 1200

2 □に自分で数字を入れて問題をつくって、式と答えを書きましょう。

〈例〉クッキーが入っているふくろが 5 ふくろあります。1ふくろに 3 0まいずつ入っていると、

クッキーは、全部でなんまいになるでしょう。

(式) $30 \times 5 = 150$

答え 150まい

1 かけ算の決まり ⑥

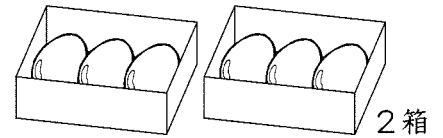
名前

ねらい 乗法の結合法則を理解する。

① □にあてはまる数を書きましょう。

1 こ20円のたまごが1箱に3こずつ入っています。
2箱では何円になるでしょうか。

卵が3こずつ入った箱



〈考え方①〉

$$\boxed{20} \times \boxed{3} \times 2 = 120$$

1箱の代金

〈考え方②〉

$$20 \times \boxed{3} \times \boxed{2} = 120$$

たまごの数

② ()にあてはまることばを書きましょう。

かけ算では前からじゅんにかけても、
後の2つを先にかけても答えは(同じ)になります。

③ 2通りの考え方で計算しましょう。

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad 4 \times 3 \times 2 & \begin{cases} (4 \times 3) \times 2 = 12 \times \boxed{2} = 24 \\ 4 \times (3 \times 2) = 4 \times \boxed{6} = 24 \end{cases} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{2} \quad 30 \times 2 \times 3 & \begin{cases} (30 \times 2) \times 3 = \boxed{60} \times \boxed{3} = \boxed{180} \\ 30 \times (2 \times 3) = \boxed{30} \times \boxed{6} = \boxed{180} \end{cases} \end{aligned}$$

1 かけ算の決まり ⑦

名前

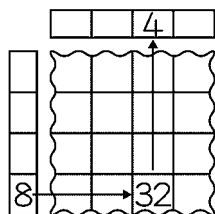
ねらい 積から乗数や被乗数を見付けることができる。(除法の素地)

① 右の式の□にあてはまる数を見つけましょう。

$$8 \times \boxed{4} = 32$$



九九の表を使って…。



8のだんの九九をと覚えて…。

$8 \times \boxed{1} = 8$	八一が 8
$8 \times \boxed{2} = 16$	八二 16
$8 \times \boxed{3} = 24$	八三 24
$8 \times \boxed{4} = 32$	八四 32

② □にあてはまる数を書きましょう。

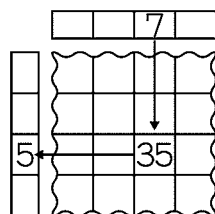
$$\textcircled{1} \quad 6 \times \boxed{6} = 36 \quad \textcircled{2} \quad 4 \times \boxed{3} = 12 \quad \textcircled{3} \quad 7 \times \boxed{6} = 42$$

③ 右の式の□にあてはまる数を見つけましょう。

$$\boxed{5} \times 7 = 35$$



九九の表を使って…。



数をじゅんにあてはめて…。

$\boxed{2} \times 7 = 14$	二七 14
$\boxed{3} \times 7 = 21$	三七 21
$\boxed{4} \times 7 = 28$	四七 28
$\boxed{5} \times 7 = 35$	五七 35

④ □にあてはまる数を書きましょう。

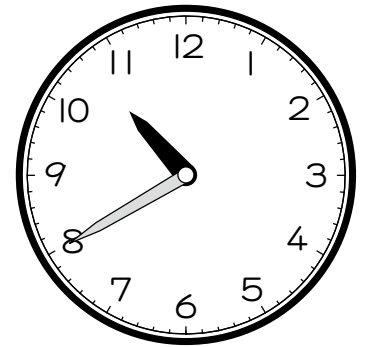
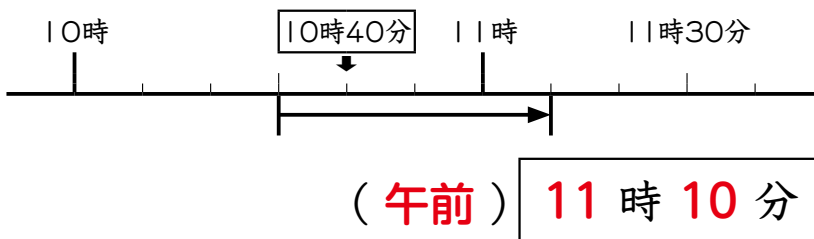
$$\textcircled{1} \quad \boxed{9} \times 5 = 45 \quad \textcircled{2} \quad \boxed{7} \times 4 = 28 \quad \textcircled{3} \quad \boxed{6} \times 8 = 48$$

2 時こくと時間 ①

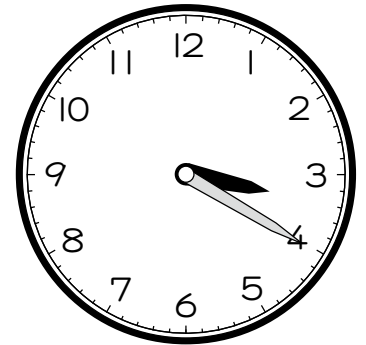
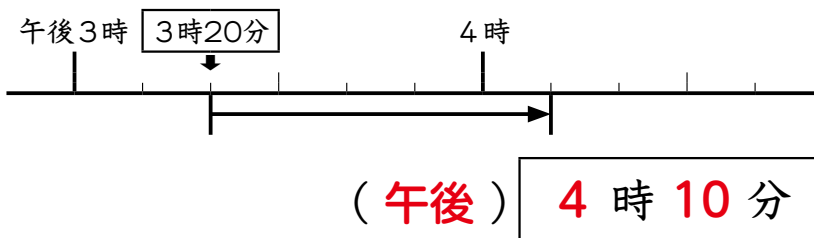
名前

ねらい ある時刻からある時間経過した時刻を計算で求めることができる。

- ① まさとさんは、^{どようび}土曜日に、サッカーのれんしゅうをしました。
 午前10時40分からはじめて、30分後にれんしゅうがおわりました。
 れんしゅうがおわった時こくは何時何分でしょう。
 ()の中には午前か午後かを、□の中には時こくを書きましょう。



- ② まさとさんは、午後3時20分から50分間本を^よ読みました。
 何時何分まで読んだでしょう。



- ③ 次の時こくをもとめましょう。
 ()の中には午前、午後を、□の中には時こくを書きましょう。

- ① 午後4時25分から45分後の時こく

(午後) 5 時 10 分

- ② 午前11時45分から30分後の時こく

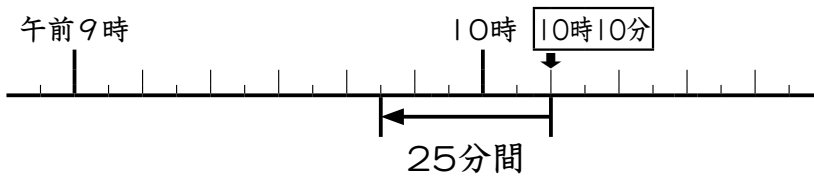
(午後) 0 時 15 分

2 時こくと時間 ②

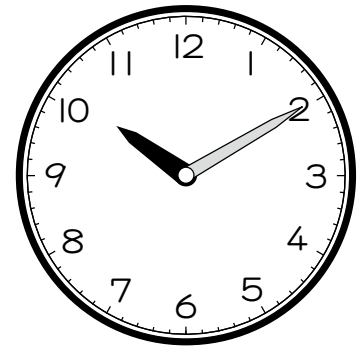
名前

ねらい ある時刻からある時間前の時刻を計算で求めることができる。

- ① まさとさんは、友だちと^{えき}駅で午前10時10分に待ち合わせをしました。
 まさとさんの家から駅までは、歩いて25分かかります。
 家を何時何分に出ればいいでしょうか。

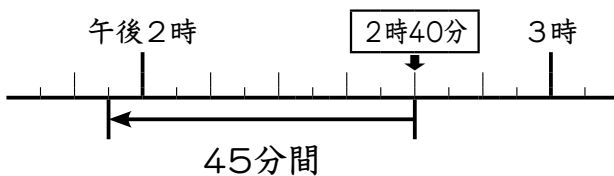


(午前) 9 時 45 分



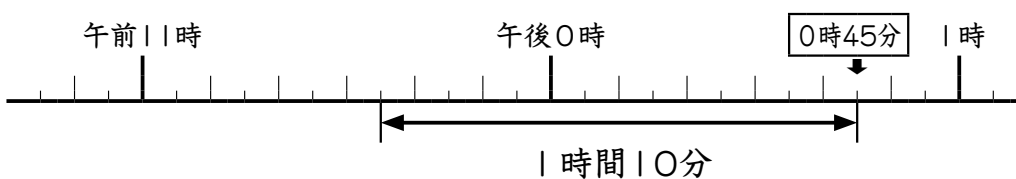
- ② 時こくをもとめましょう。
 ()の中には午前か午後を、□の中には時こくを書きましょう。

- ① 午後2時40分の45分前の時こく



(午後) 1 時 55 分

- ② 午前0時45分の1時間10分前の時こく



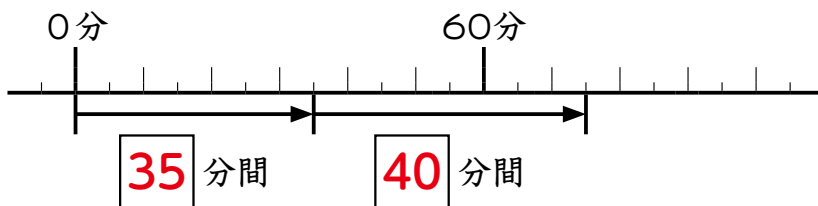
(午前) 11 時 35 分

2 時こくと時間 ③

名前

ねらい 時間と時間の和や、時刻と時刻の時間を計算で求めることができる。

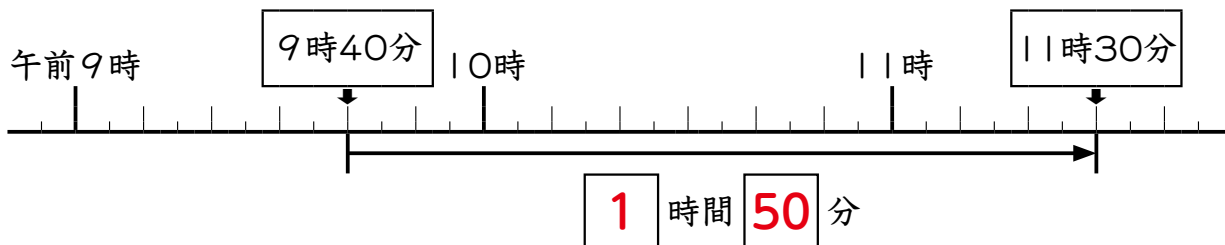
- ① えりさんは、かん字の練習^{れんしゅう}を35分間、算数のプリントを40分間やりました。
勉強^{べんきょう}していた時間は、あわせて何分間でしょうか。



$$(式) \quad 35 + 40 = 75$$

答え 75分間

- ② 商店がいの見学^{しょうてん}に出発する時^{しゅっぱつ}こくは、午前9時40分です。
学校にもどってくる時こくは、午前11時30分です。
見学に行っている時間は、何時間何分でしょうか。
□の中には、数を書きましょう。



答え 1 時間50分

- ③ 時間をもとめましょう。

① 35分間と25分間をあわせた時間。

答え 60分 (1 時間)

② 午前10時25分から午後1時までの時間。

答え 2 時間35分

2 時こくと時間 ④

名前

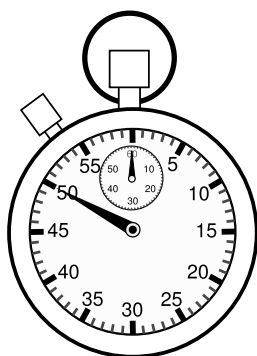
ねらい 時間の単位「秒」と単位の間係を理解する。

1 □にあてはまる数を書きましょう。

① 1分 = 60^{びょう}秒なので、80秒は □ 1 □ 分 □ 20 □ 秒です。

② 3分は □ 180 □ 秒です。

③ 2分15秒は □ 135 □ 秒です。

2 ストップウォッチは何秒^{あらわ}を表しているでしょうか。

□ 50 □ 秒



□ 25 □ 秒

3 どちらの時間が長いでしょう。長い方を○でかこみましょう。

① (1分 ・ 70秒)

② (140秒 ・ 2分)

③ (1分40秒 ・ 90秒)

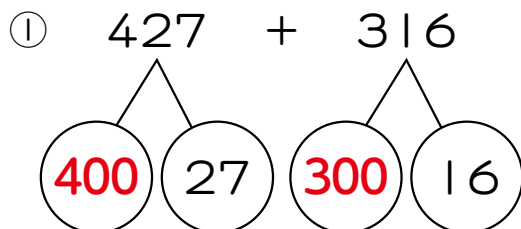
④ (2分 ・ 119秒)

3 たし算とひき算 ①

名前

ねらい 3位数+3位数で百の位に繰り上がりのない加法の計算の仕方を理解し、筆算ができる。

① ○や□にあてはまる数を書きましょう。



$$\begin{array}{r} 400 \\ + 300 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 27 \\ + 16 \\ \hline \end{array}$$

$$\boxed{700} + 43 = \boxed{743}$$

② つぎの計算を^{ひっさん}筆算でしましょう。

① $453 + 345$

	4	5	3
+	3	4	5
	7	9	8

② $825 + 132$

	8	2	5
+	1	3	2
	9	5	7

③ $525 + 374$

	5	2	5
+	3	7	4
	8	9	9

④ $318 + 256$

	3	1	8
+	2	5	6
	5	7	4

⑤ $635 + 129$

	6	3	5
+	1	2	9
	7	6	4

⑥ $308 + 617$

	3	0	8
+	6	1	7
	9	2	5

3 たし算とひき算 ②

名前

ねらい 3位数+3位数で百の位に繰り上がる加法の計算ができる。

① つぎの計算を筆算で^{ひっさん}しましょう。

① $145 + 774$

	1	4	5
+	7	7	4
	9	1	9

② $464 + 275$

	4	6	4
+	2	7	5
	7	3	9

③ $359 + 551$

	3	5	9
+	5	5	1
	9	1	0

④ $628 + 75$

	6	2	8
+		7	5
	7	0	3

⑤ $605 + 98$

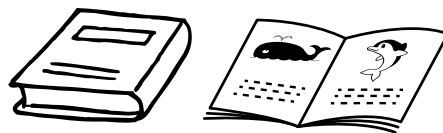
	6	0	5
+		9	8
	7	0	3

⑥ $896 + 18$

	8	9	6
+		1	8
	9	1	4

② 495円の本と、385円のざっし^かを買います。
 代金^{だいきん}は何円になるでしょうか。

式 $495 + 385 = 880$

答え 880円

3 たし算とひき算 ③

名前

ねらい

3位数+3位数で千の位に繰り上がる加法の計算や、4位数+4位数の加法の計算ができる。

Ⅰ つぎの計算を筆算で^{ひっさん}しましょう。

① $826 + 413$

	8	2	6
+	4	1	3
1	2	3	9

② $754 + 384$

	7	5	4
+	3	8	4
1	1	3	8

③ $783 + 317$

	7	8	3
+	3	1	7
1	1	0	0

④ $7376 + 2538$

	7	3	7	6
+	2	5	3	8
	9	9	1	4

⑤ $5985 + 2719$

	5	9	8	5
+	2	7	1	9
	8	7	0	4

⑥ $3796 + 4285$

	3	7	9	6
+	4	2	8	5
	8	0	8	1

⑦ $5347 + 2653$

	5	3	4	7
+	2	6	5	3
	8	0	0	0

3 たし算とひき算 ④

名前

ねらい 3位数－3位数で百の位から繰り下がりのない減法の計算を理解し、筆算ができる。

1 つぎの○や□にあてはまる数を書きましょう。

① $889 - 236$

$$800 - 200 = \boxed{600}$$

$$89 - 36 = \boxed{53}$$

$$600 + \boxed{53} = \boxed{653}$$

2 つぎの計算を筆算で^{ひっさん}しましょう。

① $265 - 128$

	2	6	5
－	1	2	8
	1	3	7

② $678 - 159$

	6	7	8
－	1	5	9
	5	1	9

③ $380 - 157$

	3	8	0
－	1	5	7
	2	2	3

④ $990 - 965$

	9	9	0
－	9	6	5
		2	5

⑤ $751 - 645$

	7	5	1
－	6	4	5
	1	0	6

⑥ $272 - 269$

	2	7	2
－	2	6	9
			3

3 たし算とひき算 ⑤

名前

ねらい 3位数－3位数で百の位から繰り下がる減法の計算ができる。

① つぎの計算を^{ひっさん}筆算でしましょう。

① $321 - 175$

	3	2	1
－	1	7	5
	1	4	6

② $644 - 384$

	6	4	4
－	3	8	4
	2	6	0

③ $456 - 288$

	4	5	6
－	2	8	8
	1	6	8

④ $521 - 326$

	5	2	1
－	3	2	6
	1	9	5

⑤ $680 - 381$

	6	8	0
－	3	8	1
	2	9	9

⑥ $362 - 179$

	3	6	2
－	1	7	9
	1	8	3

② □の中に6～9の数をあてはめて3けた－3けたの問題をつくります。
□にあてはまる数を書きましょう。

①

	8	6	4
－	7	3	9
	1	2	5

②

	9	1	8
－	5	7	6
	3	4	2

3 たし算とひき算 ⑥

名前

ねらい

波及的に繰り下がる減法の計算の仕方を理解する。

① つぎの計算を^{ひっさん}筆算でしましょう。

① $602 - 176$

	6	0	2
-	1	7	6
	4	2	6

② $503 - 291$

	5	0	3
-	2	9	1
	2	1	2

③ $401 - 27$

	4	0	1
-		2	7
	3	7	4

④ $406 - 209$

	4	0	6
-	2	0	9
	1	9	7

⑤ $800 - 306$

	8	0	0
-	3	0	6
	4	9	4

⑥ $501 - 6$

	5	0	1
-			6
	4	9	5

② □の中に1～4の数をあてはめて3けた－3けたの問題をつくります。

□にあてはまる数を書きましょう。

①

	8	0	0
-	3	2	1
	4	7	9

②

	8	0	2
-	1	4	9
	6	5	3

または

	8	0	0
-	4	2	1
	3	7	9

3 たし算とひき算 ⑦

名前

ねらい

4位数－3位数の減法の計算や、4位数－4位数の減法の計算ができる。

Ⅰ つぎの計算を筆算で^{ひっさん}しましょう。

① $603 - 278$

	6	0	3
－	2	7	8
	3	2	5

② $706 - 408$

	7	0	6
－	4	0	8
	2	9	8

③ $1000 - 925$

	1	0	0	0
－		9	2	5
			7	5

④ $1743 - 833$

	1	7	4	3
－		8	3	3
		9	1	0

⑤ $1175 - 842$

	1	1	7	5
－		8	4	2
		3	3	3

⑥ $1005 - 923$

	1	0	0	5
－		9	2	3
			8	2

⑦ $7543 - 3571$

	7	5	4	3
－	3	5	7	1
	3	9	7	2

⑧ $9674 - 2967$

	9	6	7	4
－	2	9	6	7
	6	7	0	7

⑨ $4002 - 248$

	4	0	0	2
－		2	4	8
	3	7	5	4

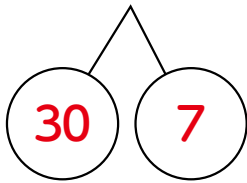
3 たし算とひき算 ⑧

名前

ねらい 加法と減法の暗算ができる。

- ① $46 + 37$ の暗算^{あんざん}のしかたをかんがえましょう。
○にあてはまる数を書きましょう。

$$46 + 37$$



上の位から計算して

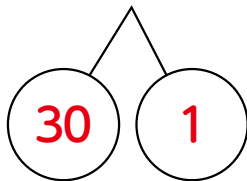
$$46 + 30 = 76$$

$$76 + 7 = 83$$

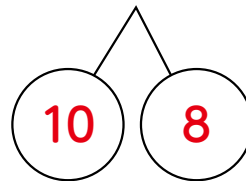


- ② 暗算でしましょう。

① $62 + 31 = 93$



② $47 - 18 = 29$



- ③ 暗算でしましょう。

① $33 + 66 = 99$ ② $53 + 38 = 91$ ③ $25 + 19 = 44$

④ $42 + 28 = 70$ ⑤ $46 - 13 = 33$ ⑥ $74 - 45 = 29$

⑦ $71 - 29 = 42$ ⑧ $80 - 25 = 55$ ⑨ $90 - 76 = 14$

3 たし算とひき算 ⑨

名前

ねらい 加法や減法の性質を用いて、工夫して計算する仕方を考えることができる。

① くふうして計算します。

□にあてはまる数を書きましょう。

$$499 + 380 = \boxed{879}$$

↓ $\boxed{1}$ をたす ↑ $\boxed{1}$ をひく

$$500 + 380 = 880$$

② くふうして計算しましょう。

$$1000 - 487 = \boxed{513}$$

↓ $\boxed{1}$ をひく ↑ $\boxed{1}$ をたす

$$999 - 487 = 512$$

③ くふうして計算しましょう。

① $103 + 299 = 402$

$$103 + 300 - 1 = 403 - 1 \\ = 402$$

② $497 + 259 = 756$

$$500 + 259 - 3 = 759 - 3 \\ = 756$$

③ $530 + 98 = 628$

$$530 + 100 - 2 = 630 - 2 \\ = 628$$

④ $500 - 95 = 405$

$$500 - 100 + 5 = 400 + 5 \\ = 405$$

⑤ $700 - 298 = 402$

$$700 - 300 + 2 = 400 + 2 \\ = 402$$

⑥ $1000 - 768 = 232$

$$999 - 768 + 1 = 231 + 1 \\ = 232$$

ねらい

3口の加法の場面で、結合法則を用いて工夫して計算することができる。

① くふうして計算します。

□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{aligned}
 \textcircled{1} \quad 414 + 72 + 228 &= 414 + (\boxed{72} + \boxed{228}) \\
 &= 414 + \boxed{300} \\
 &= \boxed{714}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \textcircled{2} \quad 644 + 132 + 356 &= 644 + \boxed{356} + 132 \\
 &= \boxed{1000} + 132 \\
 &= \boxed{1132}
 \end{aligned}$$

② 下の計算をくふうして計算しましょう。

$$\begin{aligned}
 \textcircled{1} \quad 399 + 518 + 482 \\
 = 399 + (518 + 482) = 399 + 1000 = 1399
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \textcircled{2} \quad 198 + 237 + 302 \\
 = 198 + 302 + 237 = 500 + 237 = 737
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \textcircled{3} \quad 281 + 451 + 549 \\
 = 281 + (451 + 549) = 281 + 1000 = 1281
 \end{aligned}$$

たし算とひき算
(学んだことを使おう) ⑪

名前

ねらい

日常生活の場面と関連付けて、加法や減法の計算を活用することができる。

- ① まなみさんのおこづかい帳を見て、問題に答えましょう。

おこづかい帳				
月／日	ことがら	入ったお金	使ったお金	のこったお金
	今持っているお金	1089円		1089円
5／1	おこづかい	500円		1589円
5／3	ノート		150円	1439円
5／10	プレゼント		円	円

(例) 使ったお金

㉠ 620円

㉡ 532円

㉢ 300円

㉣ 506円

(例) 残ったお金

819円

907円

1139円

933円

- ① 5／1の「のこったお金」は、どんな式でもとめられるでしょうか。

$$\boxed{1089} + \boxed{500} = 1589\text{円}$$

- ② 5／3の「のこったお金」は、どんな式でもとめられるでしょうか。

$$\boxed{1589} - \boxed{150} = 1439\text{円}$$

- ③ 5／10にお兄さんにたん生日プレゼントを買います。下の㉠～㉣の中からプレゼントをえらんで、おこづかい帳の□の中に書きこみましょう。

㉠



花束 620円

㉡



絵本 532円

㉢



おかし 300円

㉣



ケーキ 506円

★ 算数ワールド
まほうじん

名前

ねらい

魔法陣の空欄に当てはまる数を、筋道立てて考えることができる。

- ① 下のまほうじんに2～10の数を1つずつあてはめて、たて、横、^{よこ}ななめの3つの数をたした合計が18になるようにして、まほうじんをつくりましょう。

3	10	5
8	6	4
7	2	9

- ② 下のまほうじんに3～11の数を1つずつあてはめて、たて、横、ななめの3つの数をたした合計が21になるようにして、まほうじんをつくりましょう。

4	11	6
9	7	5
8	3	10

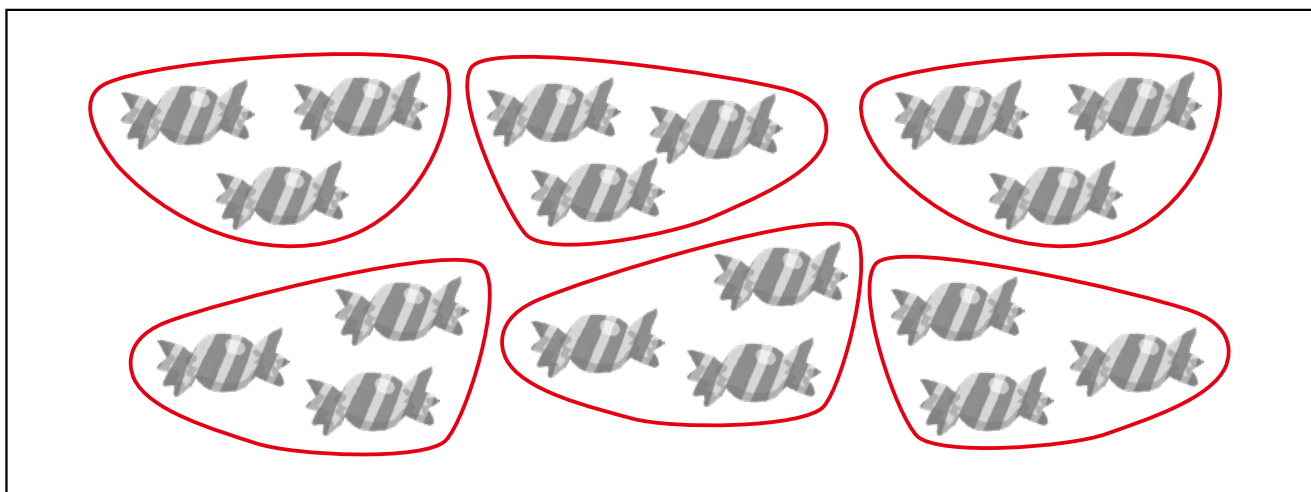
4 わり算 ①

名前

ねらい 除法の意味（包含除）、除法の式について理解する。

① つぎの問題^{もんだい}を考えましょう。

- ① あめが18こあります。これを1ふくろに3こずつ入れます。何ふくろで
きるでしょうか。下の18この~~あめ~~を3こずつかこみましょう。
また、□にあてはまる数や式^{しき}を書きましょう。



3こずつ □ 6 ふくろに分けられます。

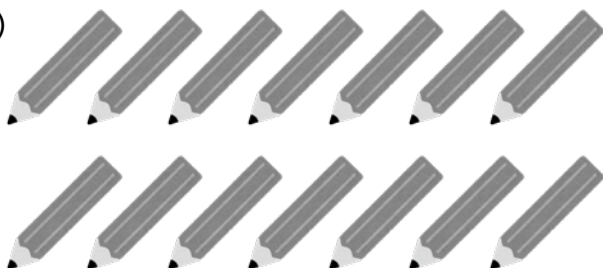
- ② 18こを3こずつ分けると、□ 6 つに分けられます。

式は、□ $18 \div 3$ = □ 6 となります。

- ② えんぴつが14本あります。1人に2本ずつくばると、
何人に分けられるでしょうか。

わり算の式と答えをもとめましょう。

図)



式)

$$\boxed{14} \div \boxed{2}$$

答え 7人

4 わり算 ②

名前

ねらい 除法（包含除）の答えの求め方を理解する。

① おはじきが15こあります。

1人に5こずつくばると、何人に分けられるでしょうか。

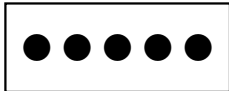
① わり算の式に^{しき}あらわ^{あらわ}しましょう。

式

$$15 \div 5$$

② 答えのもとめ方を考えます。□に数を入れましょう。

5こずつ1人分



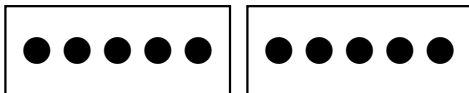
1つ分の数

いくつ分

全部の数

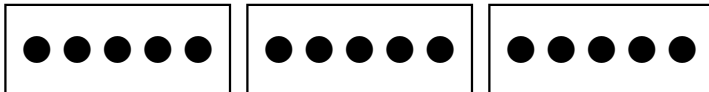
$$5 \times 1 = 15$$

5こずつ2人分



$$5 \times 2 = 15$$

5こずつ3人分



$$5 \times 3 = 15$$

答えは、 $5 \times \square = 15$ の□にあてはまる数です。③ 答えは、**5**のだんの九九でもとめられます。④ 答え **3** 人

② いちごが35こあります。1人に5こずつ分けると、何人に分けられるでしょうか。



式

$$35 \div 5 = 7$$

答え **7** 人

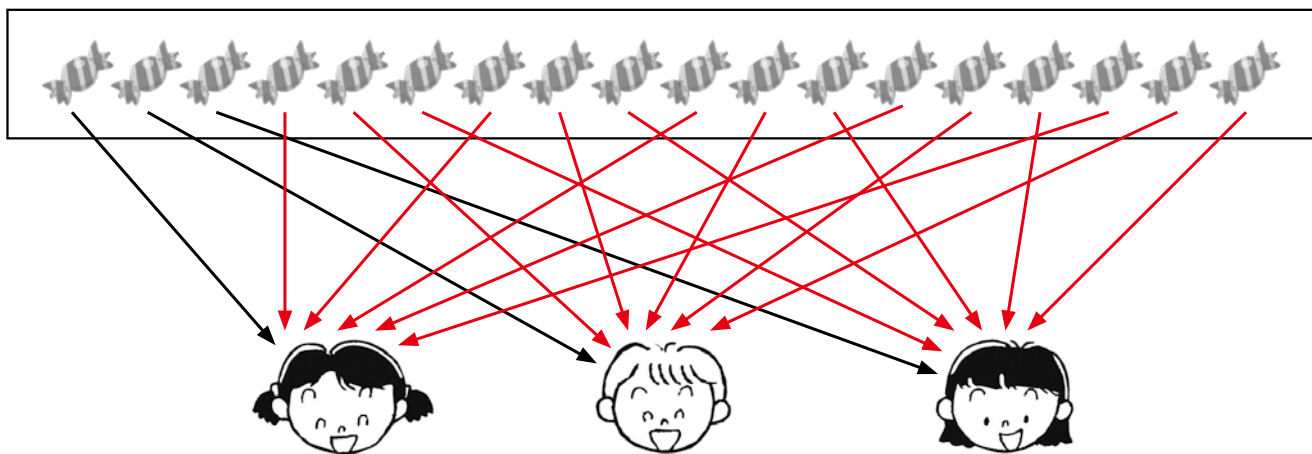
4 わり算 ③

名前

ねらい 除法の意味（等分除）を理解する。

Ⅰ つぎの問題^{もんだい}を考えましょう。

- ① あめが18こあります。これを3人に同じ数ずつ分けると、
1人分は何こになるでしょうか。
下の18このあめ~~を~~を線でつないで3人に分けてみましょう。



1つずつじゅんにくばっていくと、1人分は 6 こになります。

18こを3人で同じ数ずつ分けると、1人分は 6 こになります。

- ② このことをわり算の式^{しき}で表します。□にあてはまる数を書きましょう。
また、㊦㊩に「わる数」「わられる数」のことばを入れましょう。

$$\boxed{18} \div \boxed{3} = \boxed{6} \text{ となります。}$$

㊦ (わられる数) ㊩ (わる数)

- Ⅱ 8本のえんぴつを4人で同じ数ずつ分けると、1人分は何本になるでしょうか。

- ① わり算の式に表しましょう。

式

$$\boxed{8} \div \boxed{4}$$

- ② 答えをもとめましょう。

答え 2 本

4 わり算 ④

名前

ねらい 除法（等分除）の答えの求め方を理解する。

- ① 30このキャラメルを6人で同じ数ずつ分けます。
1人分は何こになるでしょうか。

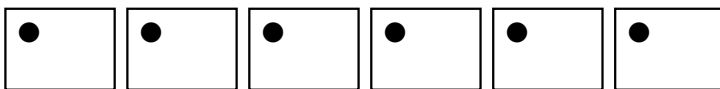
① わり算の式に^{しき}あらわ^{あらわ}しましょう。

式

$$30 \div 6$$

② 答えのもとめ方を考えます。図の□にあてはまる数を書きましょう。

1 こずつ6人分



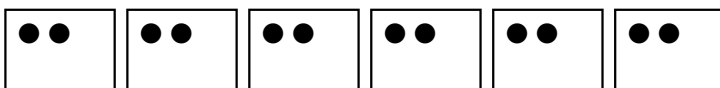
1つ分の数

いくつ分

全部の数

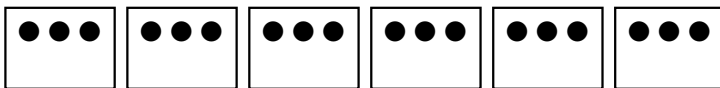
$$1 \times 6 = 6$$

2 こずつ6人分



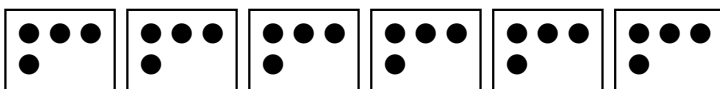
$$2 \times 6 = 12$$

3 こずつ6人分



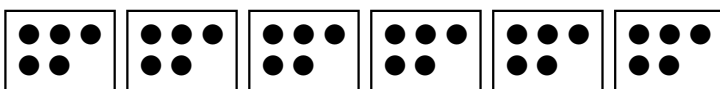
$$3 \times 6 = 18$$

4 こずつ6人分



$$4 \times 6 = 24$$

5 こずつ6人分



$$5 \times 6 = 30$$

- ② おはじきが40こあります。5人に同じ数ずつ分けると、
1人分のおはじきは何こでしょうか。

式

$$40 \div 5 = 8$$

答え 8こ

- ③ アサガオのたねが56こあります。8つの^{うえき}植木ばちに同じ数ずつまくと、
植木ばち1つ分のたねは何こになるでしょうか。

式

$$56 \div 8 = 7$$

答え 7こ

4 わり算 ⑤

名前

ねらい 包含除と等分除を統合的に理解する。

① $8 \div 4$ の式になる問題^{しき}のつづき^{もんだい}をつくり、答えをもとめましょう。

①

① (何人に分けるかをもとめる問題)

8本のえんぴつがあります。
このえんぴつを、1人に

〈例〉

4本ずつくばると、
何人にくばれるでしょうか。

式 $8 \div 4 =$ 2

② (1人分をもとめる問題)

8本のえんぴつがあります。
このえんぴつを、4人で

〈例〉

同じ数ずつ分けます。
1人分は何本でしょうか。

式 $8 \div 4 =$ 2

② 答えのもとめ方を考えます。□と数^{つか}を使って、かけ算の式にしましょう。

① $4 \times \square = 8$ ② $\square \times 4 = 8$

③ 答えはかけ算の□にあてはまる数です。答えを書きましょう。

答え 2 人答え 2 本

④ どちらの問題も 4 のだんの九九を使って答えをもとめます。

② つぎのわり算は、何のだんの九九を使えばよいでしょうか。

① $28 \div 7$ 7 のだん② $36 \div 4$ 4 のだん

4 わり算 ⑥

名前

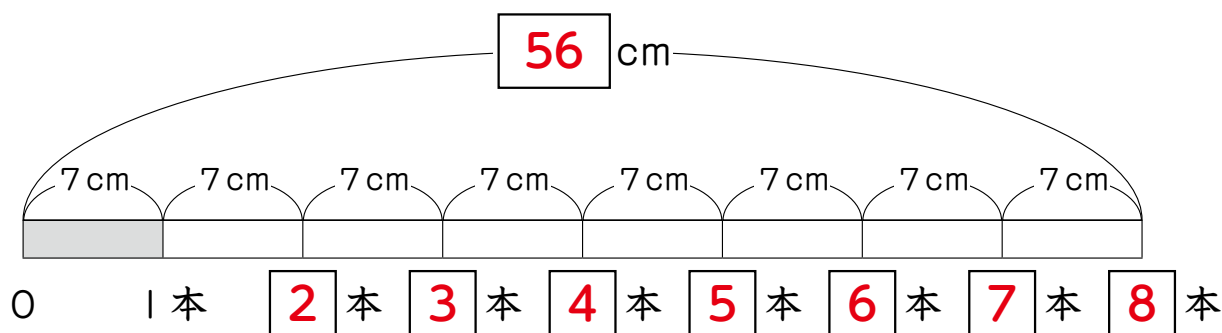
ねらい 包含除と等分除の場面について、それぞれテープ図に表して理解を深める。

- ① 56cmのリボンがあります。ゆみさんとけんじさんは、このリボンの長さをつかって、 $56 \div 7$ の式になる^{しき}問題をつくりました。
ゆみさんとけんじさんがつくった問題を図に表し、答えを^{あらわ}もとめましょう。

〈ゆみさんのつくった問題〉

56cmのリボンを7cmずつ切ると、7cmのリボンは何本できるでしょうか。

- ① 図の□にあてはまる数を書きましょう。

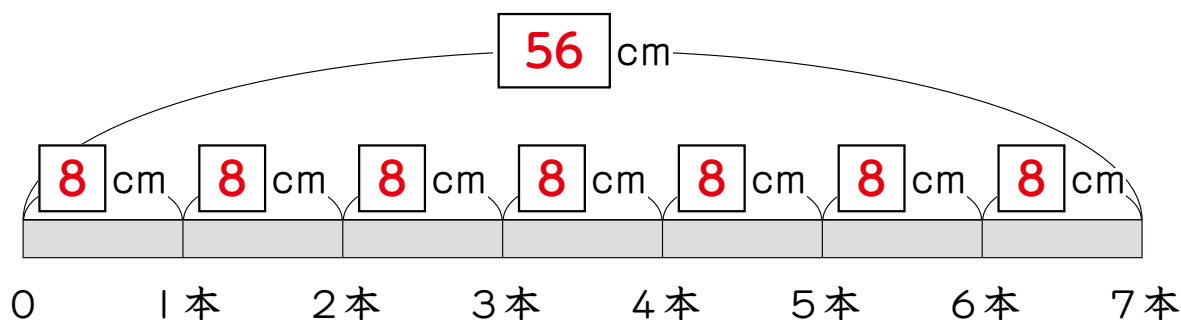


- ②
- $56 \div 7 = \boxed{8}$
- 答え
- 8本

〈けんじさんのつくった問題〉

56cmのリボンを同じ長さに7本に分けると、1本分は何cmになるでしょうか。

- ③ 図の□にあてはまる数を書きましょう。



- ④
- $56 \div 7 = \boxed{8}$
- 答え
- 8cm

4 わり算 ⑦

名前

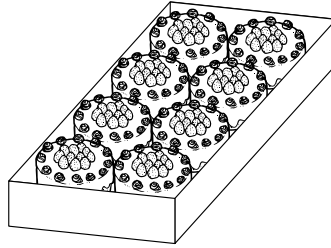
ねらい 0や1の除法の意味を理解する。

- ① ^{はこ}箱に入っているケーキを、それぞれ4人で同じ数ずつ分けます。
1人分は何こになるか、^{しら}調べましょう。

- ケーキが8このとき

式

$$8 \div 4 = 2$$



1人分のケーキの数

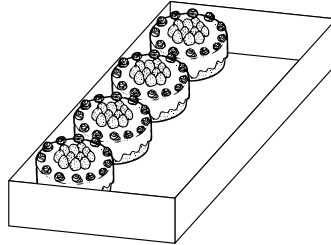
2

こ

- ケーキが4このとき

式

$$4 \div 4 = 1$$



1人分のケーキの数

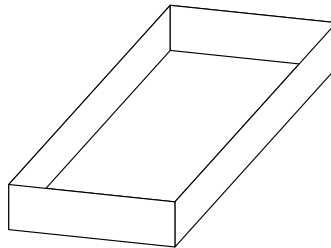
1

こ

- ケーキが0このとき

式

$$0 \div 4 = 0$$



1人分のケーキの数

0

こ

- ② 9このいちごを1人1こずつ^{くば}配ると、何人に分けられるでしょうか。

$$9 \div 1 = 9$$

答え 9人

- ③ 計算をしましょう。

① $6 \div 6 = 1$

② $1 \div 1 = 1$

③ $0 \div 5 = 0$

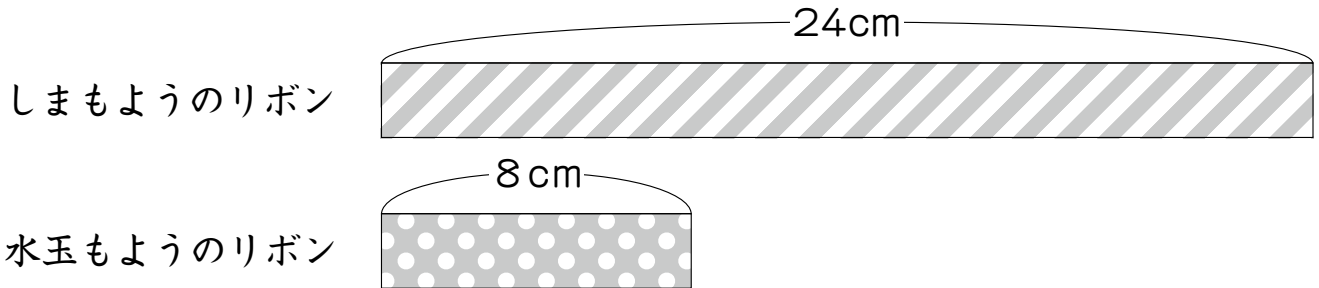
④ $0 \div 3 = 0$

⑤ $8 \div 1 = 8$

⑥ $7 \div 1 = 7$

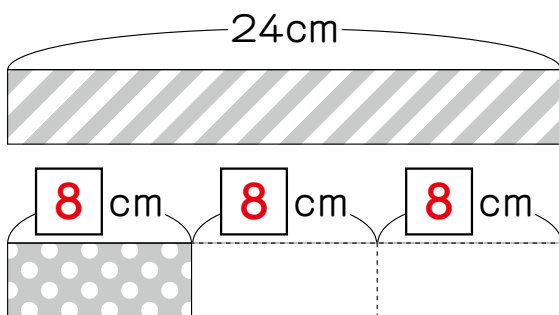
ねらい 何倍かを求めるのに除法を用いることを理解する。

- ① しまもようのリボンの長さは24cmで、水玉もようのリボンの長さは8cmです。
 しまもようのリボンの長さは、水玉もようのリボンの長さの何倍なんばいでしょうか。



□にあてはまる数を書きましょう。

24cmは8cmのいくつ分かを
考えて…。



$$24 \div 8 = \boxed{3}$$

$8 \times \square = 24$ の□にあてはまる
数をもとめればいから…。

$$8 \times \boxed{3} = \boxed{24}$$

$$24 \div 8 = \boxed{3}$$

答え **3倍**

- ② あめが63こ、チョコレートが9こあります。
 あめのこ数すうは、チョコレートのこ数の何倍でしょうか。

式
$$63 \div 9 = 7$$

答え **7倍**

4 わり算 ⑨

名前

ねらい 何十÷1位数の除法の計算の仕方を理解する。

① 60このおはじきを2人で同じ数ずつ分けます。

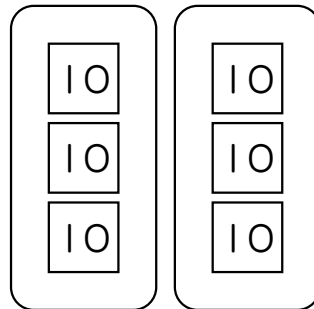
1人分は何こになるでしょうか。

右の図を見て、□にあてはまる数を書きましょう。

60を 10 が6こあるとみて10 が $(6 \div 2)$ こ

$$6 \div 2 = 3$$

$$60 \div 2 = \text{ } \textcolor{red}{30}$$

答え 30 こ

② つぎのわり算をしましょう。

① $30 \div 3 = \textcolor{red}{10}$

② $80 \div 4 = \textcolor{red}{20}$

③ $50 \div 5 = \textcolor{red}{10}$

③ □0÷1けたの問題を自分でつくって計算しましょう。

〈例〉

① 2 0 ÷ 2 = 10

② 4 0 ÷ 4 = 10

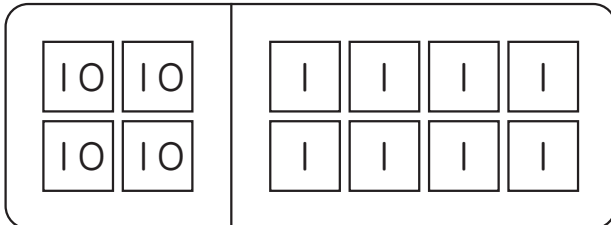
③ 6 0 ÷ 3 = 20

④ 9 0 ÷ 3 = 30

4 わり算 ⑩

名前

ねらい 位ごとにわりきれの2位数÷1位数の除法の計算の仕方を理解する。

① $48 \div 4$ の答えをくふうして求めましょう。

(ア)

(イ)

考え方

上の図をヒントにして、
 48 を分けて、考えてみよう。

48 を (ア) 40 と (イ) 8 に分ける。

(ア) $40 \div 4 = 10$

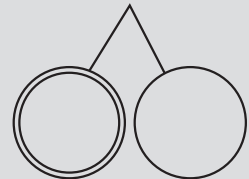
(イ) $8 \div 4 = 2$

 $48 \div 4$ の答えは

$48 \div 4 = 12$

位ごとに考えているね。

$48 \div 4$



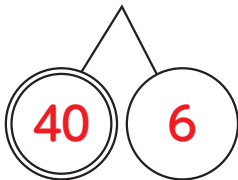
$\bigcirc \div 4 = \square$

$\bigcirc \div 4 = \square$

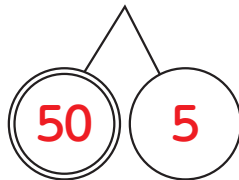
あわせて $\square$ 

② つぎのわり算をしましょう。

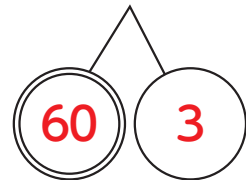
① $46 \div 2 = 23$



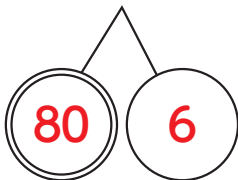
② $55 \div 5 = 11$



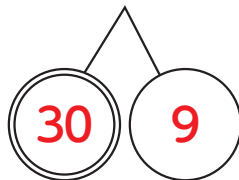
③ $63 \div 3 = 21$



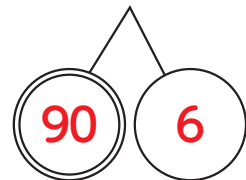
④ $86 \div 2 = 43$



⑤ $39 \div 3 = 13$

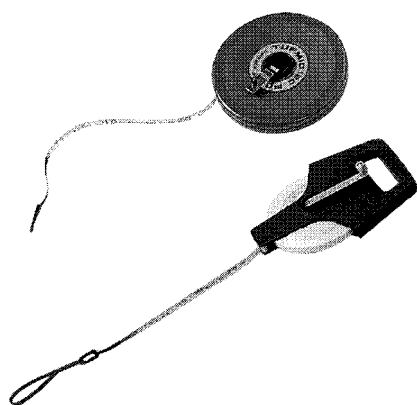


⑥ $96 \div 3 = 32$



ねらい 巻尺の機能と使い方を理解する。(2時間)

- ① 長いところや丸いところをはかるのにべんりな、下の絵のようなものの名まえを書きましょう。

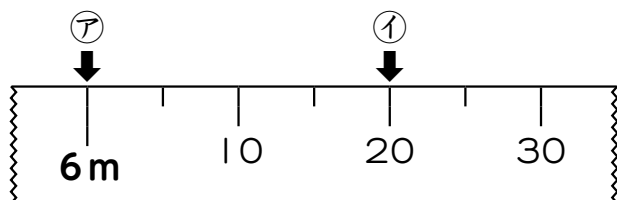


名まえ (まきじゃく)

- 長さをはかる時、どのようなことに気をつけると、よいでしょうか。□の中に数を書きましょう。

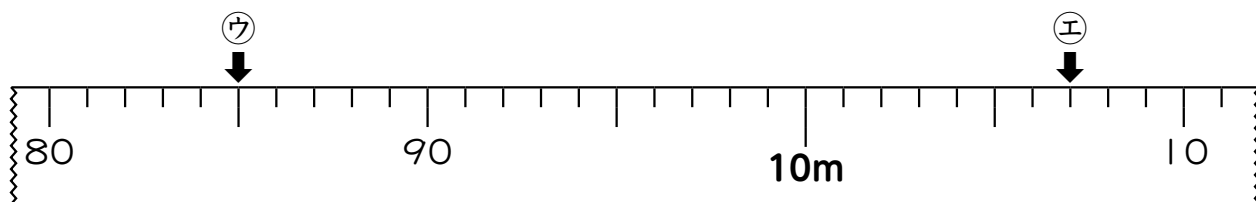
- ① 一方のはしを 0 の目もりのいちにきちんと合わせる。
- ② ゆるんだり、ねじれたりしないように、まっすぐのばす。

- ② 目もりをよんで () に書きましょう。



ア (6 m)

イ (6 m 20 cm)



ウ (9 m 85 cm) エ (10 m 7 cm)

- ③ つぎの ア から ウ の長さを はかる ^{どうぐ} 道具 を 線 で むすび ましょう。

- | | | | |
|---|---|---|------------|
| ア つくえの高さ | ● | ● | 1 m のまきじゃく |
| イ ^{あたま} 頭のまわりの長さ | ● | ● | 5 m のまきじゃく |
| ウ ^{こく} 黒ばんの ^{よこ} 横の長さ | ● | ● | 1 m のものさし |

ねらい 身の回りのものの長さを巻尺で測定することができる。

- Ⅰ まきじゃく^{つか}を使って、いろいろなところの長さをはかりました。
はかったところと長さを線でむすびましょう。

- | | | | |
|--------------------------------|---|-----|-----------|
| ① 体育館 ^{たいいくかん} のたての長さ | ● | ● ア | 2 m 70 cm |
| ② ろう下 ^{ろうか} のはば | ● | ● イ | 1 m |
| ③ 教室 ^{きょうしつ} の横の長さ | ● | ● ウ | 30 m |
| ④ 鉄棒 ^{てつぼう} の長さ | ● | ● エ | 8 m |
-

- Ⅱ つぎの①から③の長さにちかい長さをえらんで、○でかこみましょう。

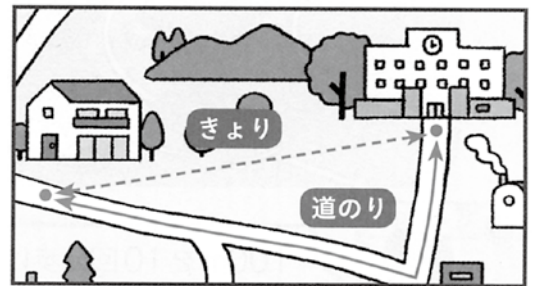
- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| ① 教室のドアのたての長さ | (2 m 1 m 30 cm) |
| ② 黒 ^{こく} ばんの横の長さ | (10 m 4 m 1 m) |
| ③ つくえの高さ | (3 m 1 m 50 cm 70 cm) |

ねらい 道のりと距離の意味、長さの単位「km」と単位の関係を理解する。

① 道にそってはかった長さを（ **道のり** ）といいます。

また、まっすぐにはかった長さを（ **きょり** ）といいます。

1000mは **1 km** です。

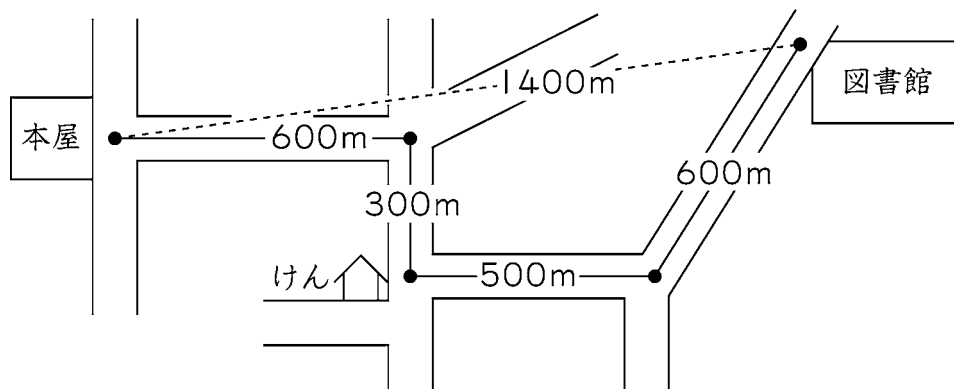


② 1300mは、何km何mでしょうか。

1300m = **1** km **300** m

③ 下の図は、けんさんの家の近くの地図です。

地図を見て、□にあてはまる数を書きましょう。



① けんさんの家から本屋までの道のりは **900** m、

図書館までの道のりは **1100** mです。

② 本屋から図書館までの道のりは **2000** mで、

きょりは **1400** mです。

長さ
(学んだことを使おう) ④

名前

ねらい

100mや1kmなどの長さを体験し、長さについての感覚を豊かにする。

Ⅰ 次の①～⑤までの長さにもっとも近い長さを、ア、イ、ウの中からえらんで、記号を○でかこみましょう。

① 小学校にあるプールの横^{よこ}の長さ(ア 10cm ☒ イ 10m ウ 10km)② 学校から駅^{えき}までの道のり(ア 20cm イ 2m ☒ ウ 2km)③ 小学校にある体育館^{たいいくかん}のたての長さ(☒ ア 30m イ 200m ウ 3km)

④ 小学校の校しゃの高さ

(☒ ア 10m イ 100m ウ 1km)

⑤ 小学校の教室のてん上までの高さ

(ア 30cm ☒ イ 3m ウ 30m)

6 表とぼうグラフ ①

名前

ねらい 資料の分類整理の仕方を理解する。

- Ⅰ すきな食べ物^{もの}を調べました。
ひとりずつカードに書いたら、下のようになりました。

ハンバーグ	スパゲッティ	カレー	おすし
ハンバーグ	ハンバーグ	スパゲッティ	カレー
やきそば	カレー	ハンバーグ	スパゲッティ
スパゲッティ	スパゲッティ	カレー	カレー
カレー	ハンバーグ	カレー	ハンバーグ

- ① 下の表に正の字を書いて
整理^{せいり}しましょう。

ハンバーグ	正 一
スパゲッティ	正
カレー	正 丁
おすし	一
やきそば	一

- ② 正の字を数字に書きなおして
下の表に整理しましょう。

食べもの	人数(人)
カレー	7
ハンバーグ	6
スパゲッティ	5
その他	2
合計	20

- ③ 数がいちばん多い、好きな食べ物は何でしょうか。

(カレー)

- ④ カレーとスパゲッティの人数のちがいは何人でしょうか。

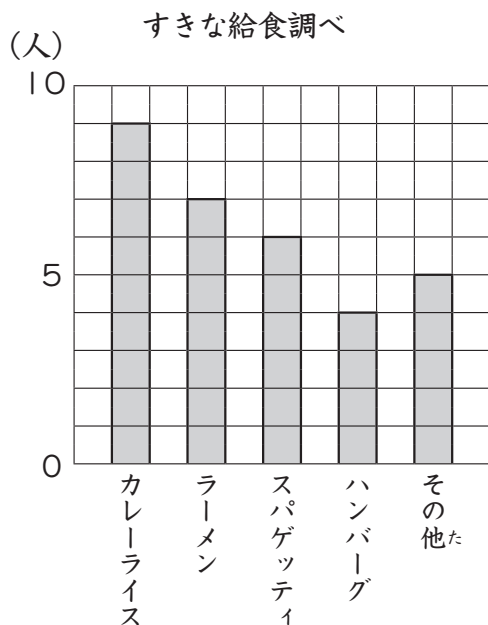
(2人)

6 表とぼうグラフ ②

名前

ねらい 棒グラフの読み方を理解する。

① 下のグラフは、3年1組の全員の好きな給食^{きゅうしょく しら}を調べたぼうグラフです。



① たてじくの1めもりは何人をあらわ表しているでしょうか。

(1人)

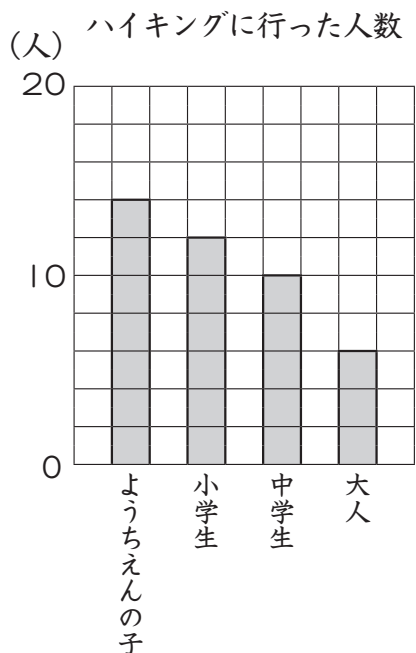
② ハンバーグとラーメンでは、何人ちがうでしょうか。

(3人)

③ 3年1組の人数は何人でしょうか。

(31人)

② あきこさんは、子ども会でハイキングに行きました。ハイキングに行った人数を調べ、下のようなグラフに表しました。グラフを見て答えましょう。



① このグラフを何グラフというでしょうか。

(ぼうグラフ)

② たてじくの1めもりは、何人を表しているでしょうか。

(2人)

③ それぞれの人数を□の中に書きましょう。

ようちえんの子 14 人

小学生 12 人

中学生 10 人

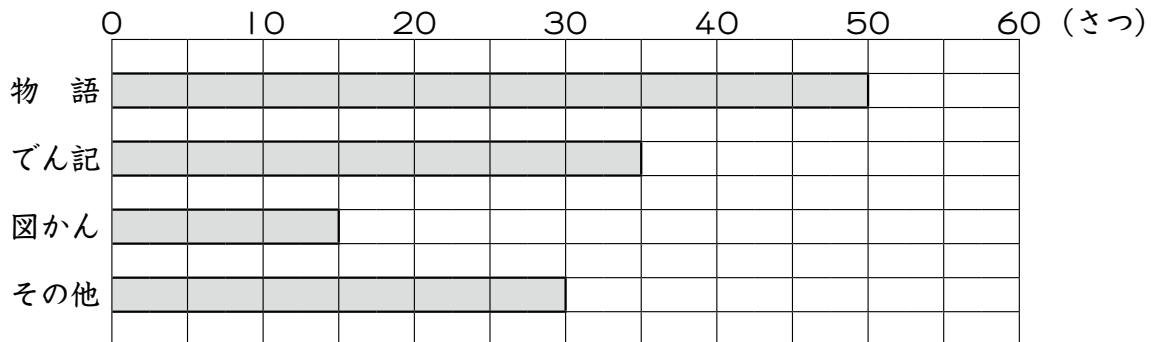
大人 6 人

6 表とぼうグラフ ③

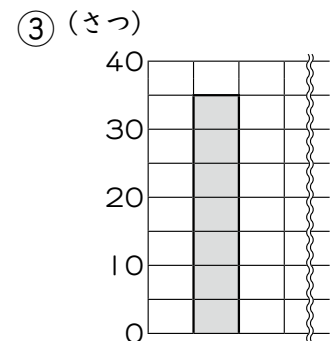
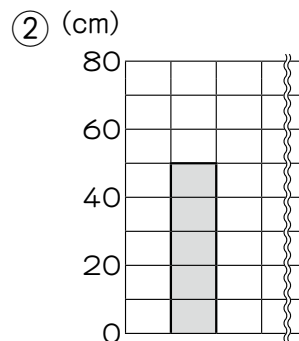
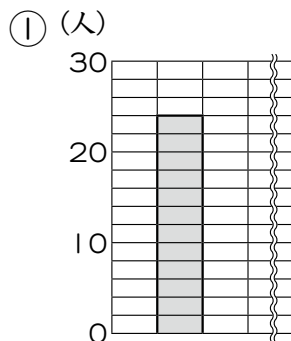
名前

ねらい 棒グラフのいろいろな表し方を理解する。

- ① 下のグラフは、たけしさんの学年の人たちが、先週、^{せんしゅう}図書室でかりた本の^{としょしつ}しゅるいと数^{あらか}を表したものです。グラフを見て答えましょう。



- ① 1めもりは、何さつを表しているでしょうか。 (5さつ)
- ② でん記は、何さつでしょうか。 (35さつ)
- ③ 図かんは、何さつでしょうか。 (15さつ)
- ② 次の①から③のぼうグラフで、たてじくの1めもりが表している大きさと、ぼうが表している大きさを書きましょう。



- 1めもり (2人) (10cm) (5さつ)
- ぼうが表している (24人) (50cm) (35さつ)
大きさ

6 表とぼうグラフ ④

名前

ねらい 棒グラフのかき方を理解する。

① ぼうグラフのかき方について考えます。

- ① あきこさんの家で、ある月に出したゴミの数について調べ、表にせいりしました。
これをぼうグラフに表しました。

(1) たてじくの1目もりは、

ゴミ (1) こ分を表しています。

(2) グラフ上の㊦には、「表題」を書きましょう。

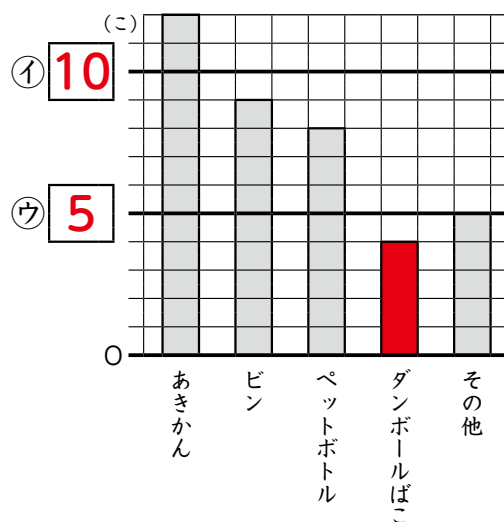
(3) ㊩、㊪に、目もりの数を書きましょう。

(4) ダンボールばこの数を表すぼうを、
グラフの中に書きましょう。

〈ゴミ調べ〉

しゅるい	数 (こ)
あきかん	12
ビン	9
ペットボトル	8
ダンボールばこ	4
その他	5
合計	38

㊦ (ゴミ調べ)

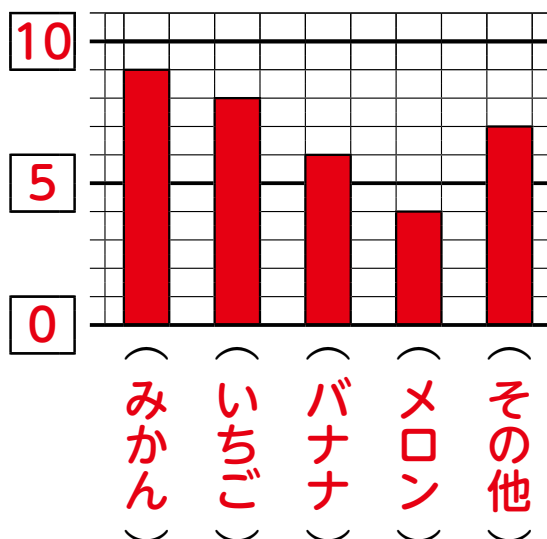


- ② 下の表は、3年1組の人たちの
すきなくだものについてまとめたものです。
この表を、ぼうグラフに表しましょう。

〈すきなくだもの〉

しゅるい	人数 (人)
みかん	9
いちご	8
バナナ	6
メロン	4
その他	7
合計	34

(人) (すきなくだもの)



6 表とぼうグラフ ⑤

名前

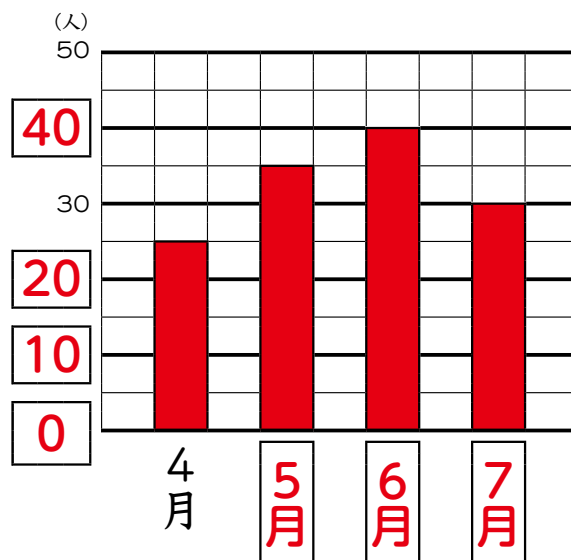
ねらい 1目盛りの大きさが1でない棒グラフのかき方を考える。

- ① 下の表は、3年1組で4か月間に学校の図書館にある本をかりた人の人数を調べたものです。
- これを、ぼうグラフに表しましょう。

本をかりた人の人数調べ

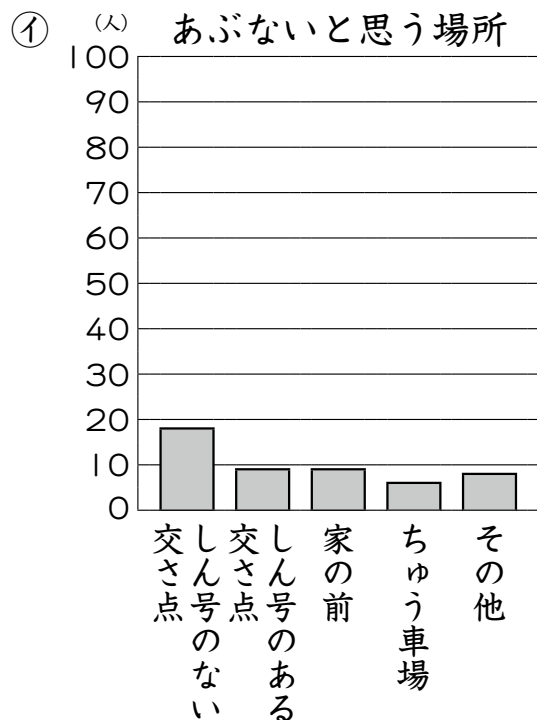
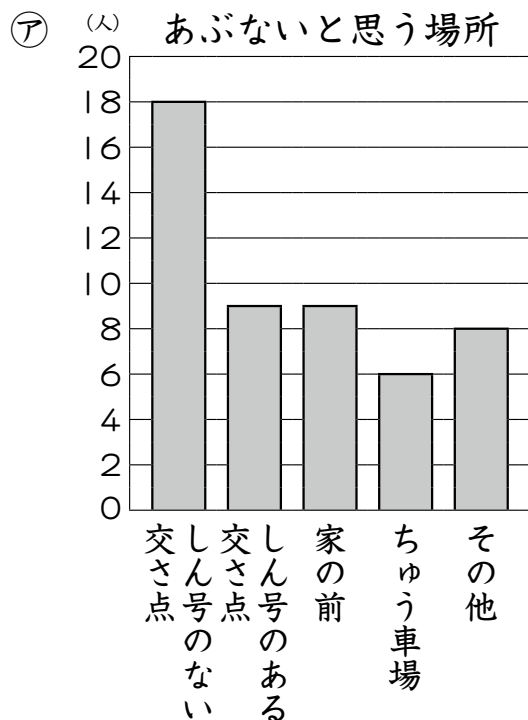
月	人数(人)
4月	25
5月	35
6月	40
7月	30

本をかりた人の人数調べ



- ② 下の㊦と㊩のぼうグラフは、同じけっかを表しています。
- ぼうの長さがちがうのは、なぜでしょう。

(たてじくの1めもりの人数がちがうから)



6 表とぼうグラフ ⑥

名前

ねらい 横向きの棒グラフのかき方や目的に合った目盛りの付け方を考える。

- ① 下の表は、学校の図書館にある本のさっ数を調べたものです。

これをさっ数の多いじゅんにならべて
ぼうグラフに表しましょう。

本の種類	さっ数 (さつ)
図かん	400
ものがたり	1000
でん記	300
絵本	900

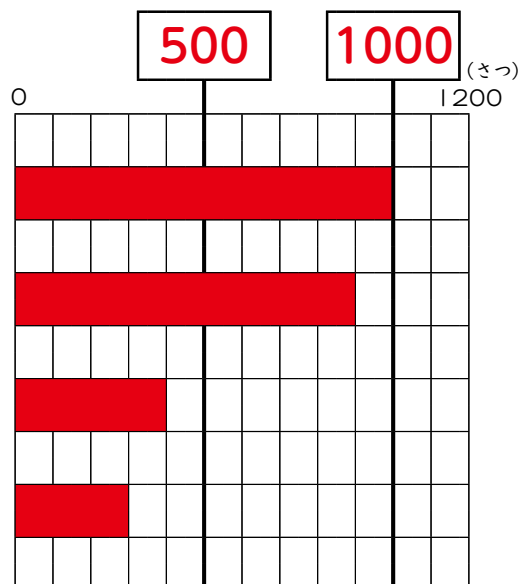
ものがたり

(絵 本)

(図 かん)

(でん 記)

(図書館にある本のさっ数)



- ② 下の表は、学校で4か月間にけがをした3年生の人数を調べたものです。

このけっかを、下のグラフ用紙を使って、ぼうグラフに表します。

たてじくの1めもりを、次の㉠から㉤の大きさにするとき、
グラフ用紙にぼうグラフが入らなくなってしまうものを、すべてえらびましょう。

けが調べ (3年生)

月	人数 (人)
4月	27
5月	32
6月	41
7月	36

㉠ 2人

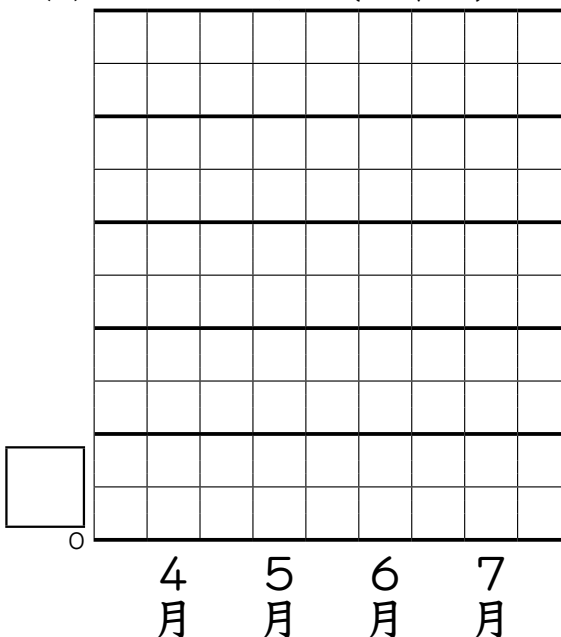
㉡ 3人

㉢ 4人

㉣ 5人

(㉠、㉡、㉢)

(人) けが調べ (3年生)



6 表とぼうグラフ ⑦

名前

ねらい 2次元表の読み方、かき方を理解する。

- ① 3学期に、3年生がどんなりゅうで休んだか、月べつに調べて、
下の3つの表^{ひょう}にまとめました。

〈1月に休んだ人数〉

休んだりゅう	人数
かぜ	8
けが	2
ふくつう	3
その他 ^た	2

〈2月に休んだ人数〉

休んだりゅう	人数
かぜ	17
けが	3
ふくつう	1
その他	4

〈3月に休んだ人数〉

休んだりゅう	人数
かぜ	6
けが	5
ふくつう	2
その他	1

下のように、3学期に休んだりゅうごとに人数がわかるように、
1つの表にしました。

①から⑩のあいたところに、あう数やことばを書きましょう。

〈1月から3月までに休んだ人数〉

(人)

りゅう \ 月	⑤ (1月)	⑥ (2月)	⑦ (3月)	合計
① (か ぜ)	8	17	6	31
② (け が)	2	3	5	10
③ (ふくつう)	3	1	⑧ (2)	6
④ (そ の 他)	2	⑨ (4)	1	7
合計	15	25	14	⑩ (54)

6 表とぼうグラフ (学んだことを使おう) ⑧

名前

ねらい

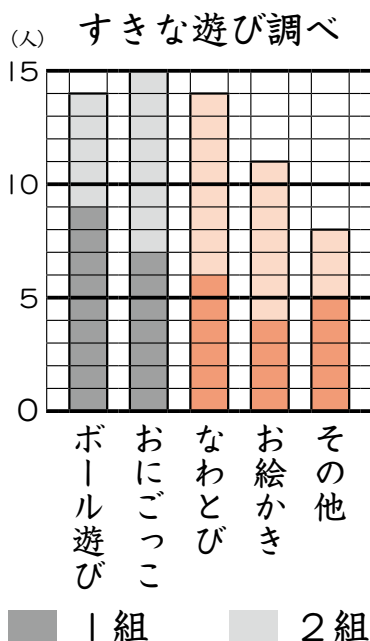
目的に応じて、複数の棒グラフを組み合わせるなど、棒グラフに表すときの工夫の仕方について考えることができる。

- ① 下の表は、さきえさんの学校で3年1組と2組で、
すきな遊び調べをしたけっかです。

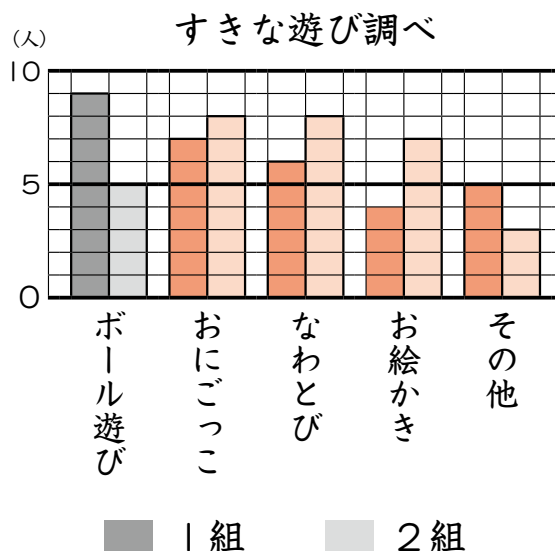
〈すきな遊び調べ〉

組 \ 遊び	ボール遊び	おにごっこ	なわとび	お絵かき	その他
1組	9	7	6	4	5
2組	5	8	8	7	3

- ① さきえさんは、下のようなぼうグラフを書いていきます。ぼうグラフのつづきを書きましょう。



- ② しんごさんは、下のようなぼうグラフを書いていきます。ぼうグラフのつづきを書きましょう。



- ③ しゅるいごとの合計が分かりやすいのは、どちらのぼうグラフでしょうか。

(さきえさん しんごさん)

- ④ 1組と2組の数をくらべやすいのは、どちらのぼうグラフでしょうか。

(さきえさん しんごさん)

7 あまりのあるわり算 ①

名前

ねらい あまりのある除法（包含除）の意味、除法の式について理解する。

Ⅰ りんごを3こずつ、ふくろに入れます。□に式や数を書きましょう。

① りんごが12こあるときは、何ふくろに分けられますか。

式

$$12 \div 3 = 4$$

答え

4

ふくろ

② りんごが13こ、14こ、15このときの、ふくろの数をもとめる式をつくりましょう。



÷3で考えると、

りんご13このとき

13

÷3

りんご14このとき

14

÷3

りんご15このとき

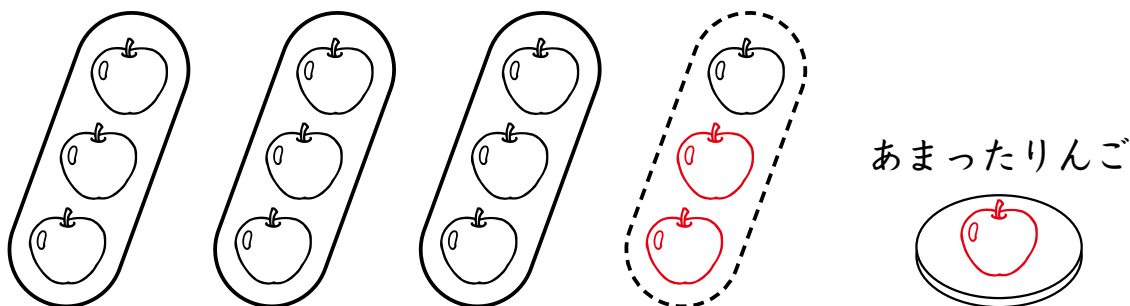
15

÷3 =

5

13÷3や14÷3の答えは、
12÷3と15÷3の間だから
4より小さくはないし
5より大きくはない
ことがわかりますね。

③ 13このりんごを3こずつ分けるときのようすを図にかいて考えました。
図のつづきをかきましょう。



④ 13このりんごを3こずつ分けるときの式と答えを書きましょう。

式

$$13 \div 3$$

=

4

あまり

1

(ふくろの数)

(あまったりんご)

答え

4

ふくろ

できて

1

こ

あまる

7 あまりのあるわり算 ②

名前

ねらい 除法のあまりの大きさを理解する。(包含除)

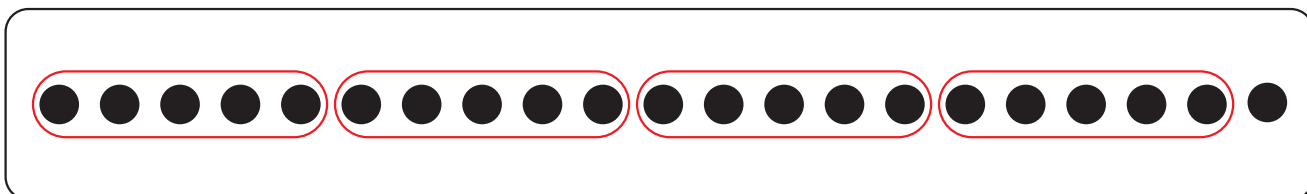
- ① さちおさんは、下の^{もんだい}問題を、2とおりの方ほうで考えてみました。

〈問題〉 21人の子どもが5人ひと組になっておどります。

何組できて、何人あまるでしょうか。

図や式で^{しき}あらわ^{あらわ}しましょう。

〈図〉



〈式〉 $21 \div 5 = 4$ あまり 1

答え 4組できて1人あまる

- ② まちがいをなおして、
正しくしましょう。

① $27 \div 5 = 4$ あまり 7



$(27 \div 5 = 5$ あまり 2)

② $27 \div 4 = 6$ あまり 5



$(29 \div 4 = 7$ あまり 1)

- ③ □の中に数を書きましょう。

$12 \div 4 = 3$

$13 \div 4 = 3$ あまり 1

$14 \div 4 = 3$ あまり 2

$15 \div 4 = 3$ あまり 3

$16 \div 4 = 4$

$17 \div 4 = 4$ あまり 1

$18 \div 4 = 4$ あまり 2

7 あまりのあるわり算 ③

名前

ねらい あまりのある除法（等分除）の計算ができる。

- ① いちごが31こあります。4人で同じ数ずつ分けると、
1人分は何こになって、何こあまるでしょうか。



- ① 式を書きましょう。

$$31 \div 4$$

- ② 答えのもとめ方を考えましょう。□にあてはまる数を入れましょう。

6こずつ 4人分 $6 \times 4 = 24 \rightarrow 7$ こあまる

7こずつ 4人分 $7 \times 4 = 28 \rightarrow 3$ こあまる

8こずつ 4人分 $8 \times 4 = 32 \rightarrow 1$ こたりない

$31 \div 4 = 7$ あまり 3 こ

答え 1人分は 7 こになって 3 こあまる

- ② 次のわり算をしましょう。

① $36 \div 5 = 7$ あまり 1

② $50 \div 6 = 8$ あまり 2

③ $45 \div 7 = 6$ あまり 3

④ $47 \div 8 = 5$ あまり 7

⑤ $71 \div 9 = 7$ あまり 8

⑥ $51 \div 6 = 8$ あまり 3

7 あまりのあるわり算 ④

名前

ねらい あまりのある除法の答えの確かめの式を理解する。

① つぎのわり算の答えをたしかめましょう。□にあてはまる数を書きましょう。

① $31 \div 7 = 4$ あまり 3

たしかめ $7 \times 4 + \boxed{3} = \boxed{31}$

② $50 \div 6 = 8$ あまり 2

たしかめ $6 \times \boxed{8} + \boxed{2} = \boxed{50}$

③ $49 \div 8 = 6$ あまり 1

たしかめ $\boxed{8} \times \boxed{6} + \boxed{1} = \boxed{49}$

④ $78 \div 9 = 8$ あまり 6

たしかめ $\boxed{9} \times \boxed{8} + \boxed{6} = \boxed{78}$

② つぎの計算をしましょう。また、答えのたしかめもしましょう。

① $16 \div 3 = 5$ あまり 1

(たしかめ) $3 \times 5 + 1 = 16$

② $31 \div 5 = 6$ あまり 1

(たしかめ) $5 \times 6 + 1 = 31$

③ $30 \div 4 = 7$ あまり 2

(たしかめ) $4 \times 7 + 2 = 30$

④ $56 \div 6 = 9$ あまり 2

(たしかめ) $6 \times 9 + 2 = 54$

⑤ $23 \div 8 = 2$ あまり 7

(たしかめ) $8 \times 2 + 7 = 23$

⑥ $34 \div 7 = 4$ あまり 6

(たしかめ) $7 \times 4 + 6 = 34$

⑦ $50 \div 6 = 8$ あまり 2

(たしかめ) $6 \times 8 + 2 = 50$

⑧ $59 \div 9 = 6$ あまり 5

(たしかめ) $9 \times 6 + 5 = 59$

7 あまりのあるわり算 ⑤

名前

ねらい

除法の余りの処置（余りを加える場合）について考えることができる。

- ① 子どもが29人います。1つの長いすに5人ずつすわっています。
みんながすわるには、長いすは何こいるでしょうか。

□にあてはまる数を書きましょう。

- ① ^{しき}式を書きましょう。

〈式〉 $29 \div 5 = 5$ あまり 4

- ② 子どもたちが全員^{ぜんいん}すわるためには、長いすは 6 こいります。

このことを式に表すと $5 + 1 = 6$ となります。

- ② 29人みんなが6人ずつのグループで長なわとびをするには、
長いなわは何本あればよいでしょうか。

〈式〉 $29 \div 6 = 4$ あまり 5
 $4 + 1 = 5$

答え (5 本)

- ③ サッカーボールが15こあります。

1回に2こずつはこぶと、
何回で全部^{ぜんぶ}はこべるでしょうか。

1回に2こはこぶ



〈式〉 $15 \div 2 = 7$ あまり 1
 $7 + 1 = 8$

答え (8 回)

7 あまりのあるわり算 ⑥

名前

ねらい 除法のあまりの処理（余りを除く場合）について理解する。

- ① 25このいちごがあります。このいちごを1人に3こずつくばると、何人にくばることができて、何こあまるでしょうか。

〈式〉 $25 \div 3 = 8 \text{ あまり } 1$

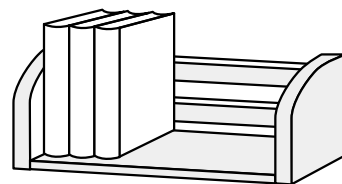
答え (8) 人にくばれて (1) こあまる

- ② 花が27本あります。この花を6本ずつたばねて花たばをつくります。6本ずつの花たばは、いくつできるでしょうか。

〈式〉 $27 \div 6 = 4 \text{ あまり } 3$

答え (4 たば)

- ③ はばが28cmの本立てがあります。この本立てに、あつさ3cmの本を入れていきます。本は何さつ入るでしょうか。



〈式〉 $28 \div 3 = 9 \text{ あまり } 1$

答え (9 さつ)

7 あまりのあるわり算 (学んだことを使おう) ⑦

名前

ねらい

日常生活の場面と関連付けて、あまりのある除法の計算を活用することができる。

Ⅰ ある月のカレンダーです。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17

① ^{もくようび}木曜日の日にちを7でわってみましょう。

□にあてはまる数を書きましょう。

木曜日の日にちを7でわってみると、

$$1 \div 7 = \boxed{0} \text{ あまり } \boxed{1}$$

$$8 \div 7 = \boxed{1} \text{ あまり } \boxed{1}$$

$$15 \div 7 = \boxed{2} \text{ あまり } \boxed{1}$$

木曜日の日にちは、7でわると

あまりは $\boxed{1}$ になる。

② つぎの^{ようび}曜日は、7でわってあまりがいくつになっているでしょうか。

月曜日 ($\boxed{5}$) 火曜日 ($\boxed{6}$) 水曜日 ($\boxed{0}$)

金曜日 ($\boxed{2}$) 土曜日 ($\boxed{3}$) 日曜日 ($\boxed{4}$)

③ この月の26日は何曜日でしょうか。

〈式〉 $26 \div 7 = 3 \text{ あまり } 5$

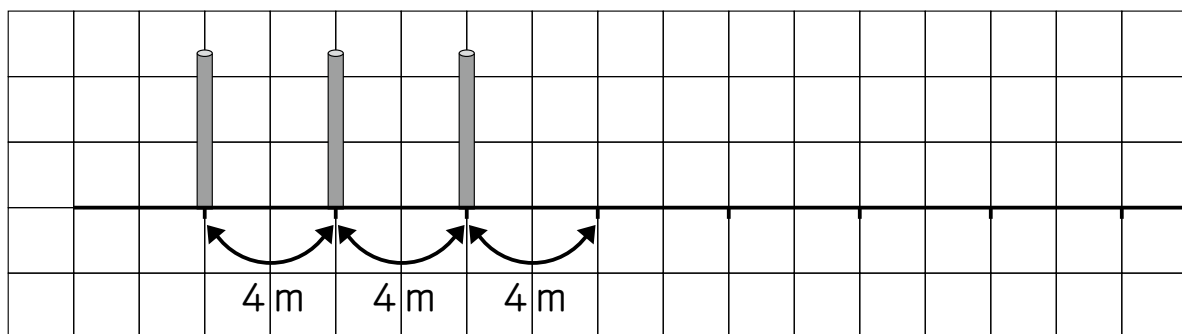
答え ($\boxed{\text{月曜日}}$)

★ 算数ワールド
なみ木道

名前

ねらい 木の本数と間の数の関係の問題（植木算）を、図や式などを用いて筋道立てて考えることができる。

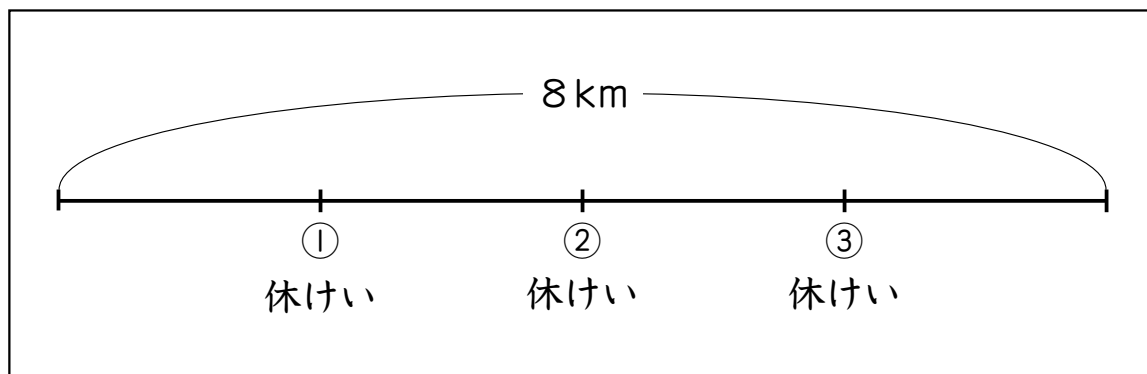
- ① 花だんに4mおきにくいが7本植えてあります。
くいののはしからはしまで何mでしょうか。



〈式〉 $7 - 1 = 6$
 $4 \times 6 = 24$

答え (24m)

- ② ハイキングで8km歩きます。その間に3回休けいをして、
1度に歩く道のりがすべて同じになるようにします。
何kmごとに休けいをすればよいでしょうか。



〈式〉 $3 + 1 = 4$
 $8 \div 4 = 2$

答え (2km)